

# 栄養科学研究科博士前期課程 3つのポリシー

(令和7年度以降入学生適用)

## 【教育目標】

栄養科学研究科博士前期課程は、機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の各専門分野において、食を通じて人々の健康増進に貢献することができる高度専門職業人、研究者並びに教育指導者を育成します。

## 【ディプロマポリシー】

本前期課程は、次のような資質・能力を有すると認められた者に修士（栄養科学）の学位を授与します。

1. 栄養科学における専門的な知識を身に付け、体系的に理解する能力を有している。
2. 栄養科学における専門的知識を活用し、食を通じた健康増進に貢献できる技能を身に付けている。
3. 栄養科学における課題を解決する論理的思考力とコミュニケーション能力を身に付けている。
4. 食を通じた健康増進に貢献しようとする真摯な態度と食や栄養に関する者としての健全な倫理観を身に付けている。
5. 栄養科学分野における研究課題を理解し、研究課題の解決に向けた行動・実験に取り組む能力を身に付けている。

## 【カリキュラムポリシー】

本前期課程は、ディプロマポリシーに掲げた資質・能力を修得するため、教育課程編成・実施の方針を以下のように定めます。

1. 栄養科学における専門的な知識を身に付け、体系的に理解するために、選択の専門科目（特論）及び部門横断型の必修科目「栄養科学総合講義」を配置する。
2. 栄養科学における専門的知識を活用して健康維持に貢献できる技能及び課題解決のための論理的思考力やコミュニケーション能力を身に付けるため、必修の実験・実習科目及び演習科目を配置する。
3. 「特別研究」では、栄養科学分野における研究課題の解決に取り組み、修士論文を作成するとともに、食を通じた健康増進に取り組む真摯な態度と食や栄養に関する者としての健全な倫理観を涵養する。
4. 社会人学生に配慮した教育課程を編成する。

## 【アドミッションポリシー】

本前期課程は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、次のような人物を広く受け入れます。

1. 大学において栄養科学に関する科目を修得した人、もしくは同等の栄養科学に関する知識・技能を有する人
2. 多様な考えや価値観を持った人々と協働することができる人
3. 食を通じた健康増進に関わる課題に対して、基本的な倫理観をもって誠実に取り組む意欲のある人
4. 食や栄養に関する諸問題に関心を持っている人